

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 ヒロタニ 志和第2工場

(2) 事業所の所在地

〒739-0269 広島県東広島市志和町志和掘字塩川10-1

(3) 業種

自動車部分品、附属品製造業

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年度を基準年度とし、平成30年度から令和4年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1:環境方針

当社は、自動車用内装部品を主に生産する会社として開発・設計・製造・販売・サービスの事業活動の中で環境保全が会社に貢献することを認識し、地球環境保護と会社の永続的発展に努め環境保護に努めます。

2:そのために

- ①: 当社の事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を認識し、環境汚染の予防活動に努め、環境マネジメントシステムを構築し継続的な改善に取り組みます。
- ②: 当社の環境側面に適用される法的要求事項並びに当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- ③: 当社の環境側面のうち、次の事項を重点活動項目として取り組みます。
 - (1): 省資源の推進
 - (2): 省エネルギーの推進
 - (3): 廃棄物の低減
 - (4): 環境にやさしい商品開発
- ④: 環境方針を達成する為に、環境目的及び環境目標を定め、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
- ⑤: 環境方針は、全従業員及び協力企業構成員に周知させ、環境意識の高揚に努めると共に、一般にも開示します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成29年度	令和2年度
二酸化炭素	4,597	2,762

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産数(個)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成29年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和4年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	4,597	5,909,611	0.000778	5.0	4,700	6,360,000	0.000739
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	4,597	5,909,611	0.000778	5.0	4,700	6,360,000	0.000739
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	1,704	5,909,611	0.000288	5.1	1,740	6,360,000	0.000274
目標設定の考え方	年間1%の削減を目標として5年計画で約5%の削減率を設定しました。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a)/(b) 原単位見込(g) = (e)/(f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量を5%削減	1、工場電気監視装置の設置 2、プレス作動油を省エネタイプへ変更 3、照明機器の見直し 4、不良品の低減 5、段替時間の短縮 6、金型使用2時間前のヒーター電源ONの厳守 7、デマンド設定値を10%落としピーク超予防 8、タクトUPによる枚当たりエネルギー使用量の低減
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

最高責任者	グローバル生産本部	本部長
総括推進責任者	グローバル生産本部	副本部長
推進責任者	グローバル生産本部	第1製造部 第2工場 工場長
推進リーダー	グローバル生産本部	第1製造部 第2工場 第2製造課 課長

(2) 実施状況の点検・評価

毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行い継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

事業所に備え付けて閲覧できるようにする。